

第18回都市文化研究フォーラム

中国宋代における 「中心」と「周辺」、 「半周辺」 —地域社会論の再検討を目指して—

中国宋代（10～13世紀）を背景とした歴史的空間を中心—半周辺—周辺に分けて分析し、個別ケーススタディーを通じて、現今まで対立的な構図の中で説明されてきた中心と周辺の関係を変更することによって既存の地域社会論を再検討する。

報告1：金甲鉉（UCRC研究員）

「南宋後期における江西吉州の書院と士人ネットワーク」

報告2：王世禎（UCRC研究員）

「宋代行役記研究」

報告3：李靈均（UCRC研究員）

「宋代文官差遣の内容の成立とその周囲」

報告4：劉藍蔚（UCRC研究員）

「宋代四川総領所について」

コメンテーター：平田茂樹（大阪公立大学文学研究科教授）

・日時：2024年2月19日（月）15時～17時

・場所：オンライン（Zoom）開催

※参加を希望される方は、2月18日までに下記URLもしくはQRコードより申込フォームにアクセスし、参加申請を行ってください。

申込URL：<https://forms.gle/dunzFL3odFeg4HHBg>



主催：大阪公立大学大学院文学研究科都市文化研究センター

Tel:06-6605-3114

Mail:gr-lit-ucrc@omu.ac.jp

URL:<https://www.omu.ac.jp/lit/ucrc/>

UCRC 大阪公立大学大学院 文学研究科 都市文化研究センター
Urban-Culture Research Center